



新潟大学 工学部 工学科

協創経営プログラム Engineering Management Program

協創経営プログラム

課題解決インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ

2020.9.28

令和2年度

新潟大学工学部工学科 協創経営プログラム

新潟大学大学院自然科学研究科 社会システム工学コース

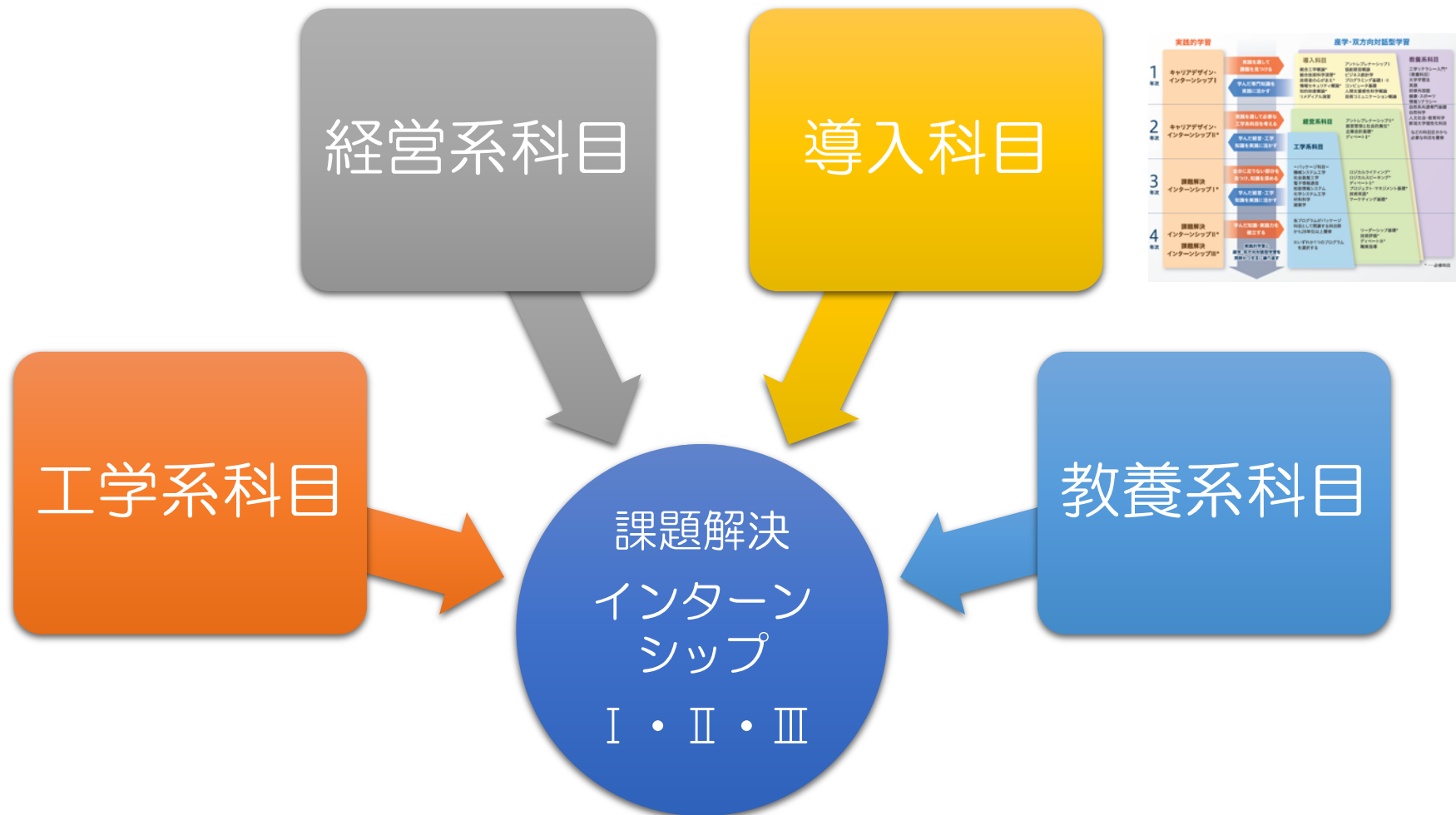
第1回 説明会開催



課題解決インターンシップ

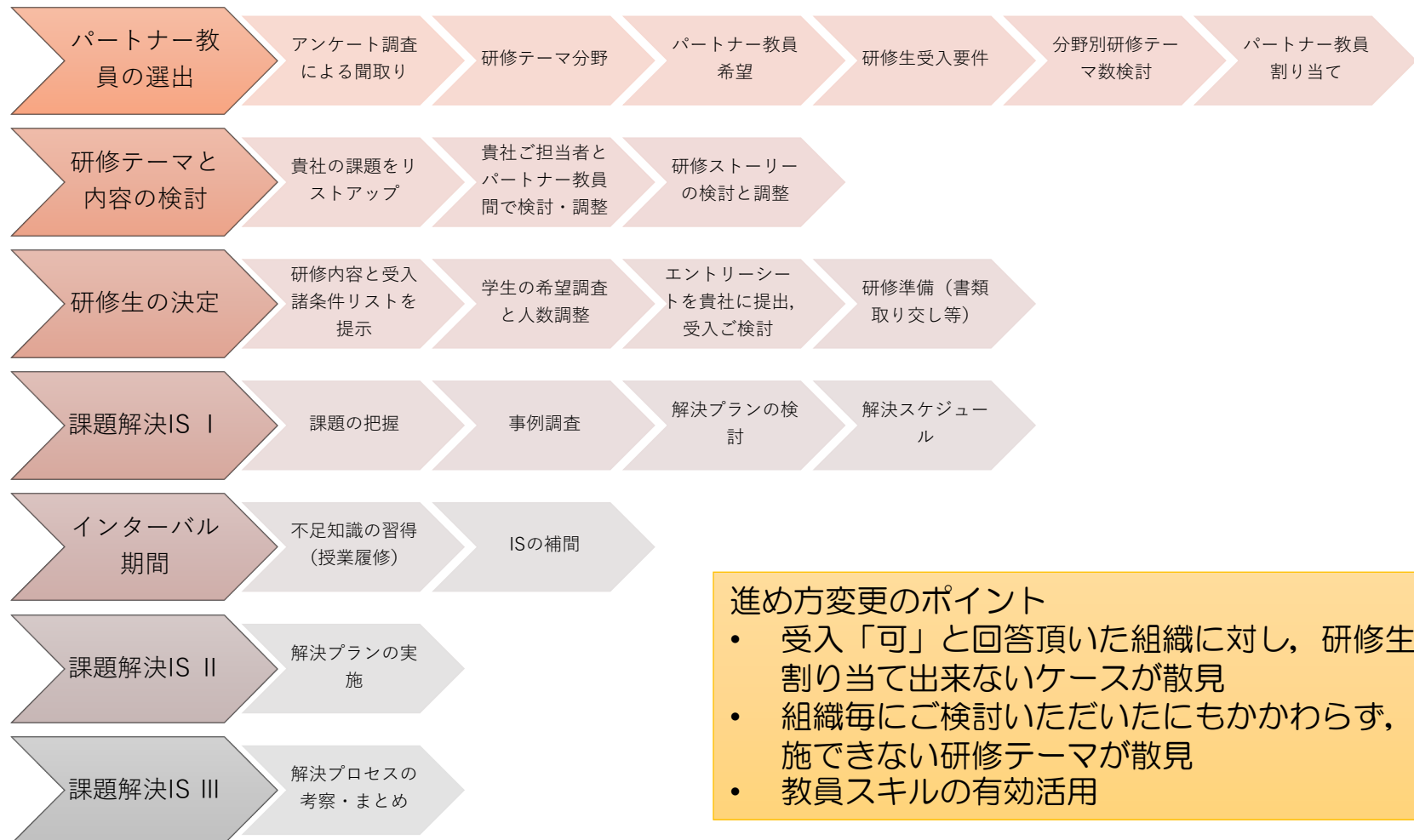
- 企業内等の実課題に対し、観察・分析・解決に至る実務を通し、総合的「工学力」を習得するPBL型教育プログラム
 - 課題解決の過程で、工学のみならず各分野の技術と知識を必要とすることを理解し、それを利活用することで、相互の重要性を理解
 - 併せて、「チームワーク力」や「コミュニケーション力」の習得も
- 課題解決インターンシップⅠ
 - 3年次学生の第4ターム（12月～2月：24日間程度）
 - 解決を図る手段・手法を決定し、実施計画を設定
- 課題解決インターンシップⅡ・Ⅲ
 - 4年次学生の第3・4ターム（10月～2月：48日間程度）
 - 解決プロセスの実践
 - 解決プロセスで得られた結果の検討と考察

課題解決インターンシップは
協創経営プログラムカリキュラムの総括





課題解決インターンシップの進め方



進め方変更のポイント

- 受入「可」と回答頂いた組織に対し、研修生が割り当て出来ないケースが散見
- 組織毎にご検討いただいたにもかかわらず、実施できない研修テーマが散見
- 教員スキルの有効活用

パートナー教員の選出

- 課題解決インターンシップ受入れ組織にアンケート調査実施
- アンケート内容
 - 課題解決インターンシップの受入可否
 - 受入要件
 - 課題解決インターンシップテーマの分野
 - 希望のパートナー教員
 - アンケート調査の際、教員プロフィールを添付
- パートナー教員の役割
 - 受入組織との調整窓口
 - 研修テーマ検討（課題深掘り、解決方法・研修ストーリー、受入組織と調整）
 - 研修生（学生）の学内指導

調査結果に基づき、プログラム内で受入組織毎のパートナー教員と研修テーマ数を調整



プログラム長 准教授

小浦 方 格

研究分野・テーマ：機械設計 産学連携 地域イノベーション 中小企業
地域産業振興や産学連携業務に即した実証研究を行っています。また企業で生産設備設計、生産技術、品質マネジメントに従事した経験に基づき、企業の生産活動に関する諸問題に共同で取り組みたいです。
mail: kourakata@eng.niigata-u.ac.jp
TEL: 7693 (工学部A-218)
O/H: 火曜4期 (第1・2チーム)



副プログラム長 4学年担当 教授

尾田 雅文

研究分野・テーマ：医用システム 生体医工学・生体材料学
有酸素系法(FEM)等による力学解析や超音波工学、メカトロニクス分野の知識を生かし、医用インプラントの評価や医療・福祉分野の機器開発の経験を持っています。
mail: oda@eng.niigata-u.ac.jp
TEL: 7655 (産学共同研究棟1号棟105室)
O/H: 水曜3期 (第1・2チーム)



2学年担当 教授

野中 敏

研究分野・テーマ：地域産業振興 中小企業
研究教員としての採用ではなく、前職の経験を活かし地域産業政策や製造業における中小企業の重要性などを内容とした授業担当と「新潟県の企業・産業を知る講座」事業などを行っています。
mail: snonaka@eng.niigata-u.ac.jp
TEL: 7729 (工学部A-217)
O/H: 毎日4期 (第1・2チーム)



教授

増田 淳

研究分野・テーマ：太陽光発電 電子材料
太陽電池や有機電子材料に関する研究を行っています。特に産官学でのプロジェクト研究やコンソーシアム研究での経験が豊富で、産業界での実用化を目指すとともに、研究の根幹となる基礎的な知見の習得や学術的な発展も大事にしていきたいと考えています。
mail: a-masuda@eng.niigata-u.ac.jp
TEL: 7381 (自然科学研究科管理共済棟313-1)
O/H: 月曜5期 (第1・第2チーム)



3学年担当 准教授

長尾 雅信

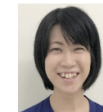
研究分野・テーマ：地域ブランド 関係性マーケティング CSV (creating shared value)
10年以上、社会人大学院 (MOT)にてマーケティングを教授してきました。ブランディングをテーマに県内外の企業、自治体、研究者と共同研究を行っています。SDGsに係る研究や社会連携にも力を入れています。
mail: nagao@eng.niigata-u.ac.jp
TEL: 6342 (人文社会科学系棟C-354) / 7287 (プログラム事務局)
O/H: 水曜5期 (第1チーム) 月曜4期 (第2チーム)
※O/Hはプログラム事務局を基本とし、場合によって工学部内の別室等に対応します



1学年担当 准教授

東瀬 朗

研究分野・テーマ：システム工学 安全工学 経営戦略 デザイン工学
「経営管理の改善」「安全管理の改善」「デザイン思考による新商品/サービス開発プロセスの改善」を研究及び教育の3本柱として取り組んでいます。企業との共同・受託研究や各社での講演も多数行っています。
mail: tose@eng.niigata-u.ac.jp



助教

若林 悦子

研究分野・テーマ：社会システム工学・安全システム 地域産業
高市のインターンシップ窓口である「公益社団法人つばめい」とで事務局長を務めています。企業にとっても、学生にとっても効果の高いインターンシップを目指し、サポートさせていただきます。
mail: etsukow@eng.niigata-u.ac.jp
TEL: 7287 (プログラム事務局)
O/H: 水曜3-4期 (第1・2チーム)

研修テーマと内容の検討

1. 貴社の課題をリストアップ
 - PBL学習のスタート地点
 - 緊急対策を要する課題は不適
 - 工学とこれに関連する経営課題
 - 課題の大小は不問（大きな課題は継続テーマとして扱う）
 2. 貴社ご担当者様とパートナー教員間で検討調整
 - 課題を教員の視点からも深掘り
 - 実現可能性を高める方法検討
 - 各組織（受入組織，大学）の役割
 3. 研修ストーリーの検討と調整
 - 学生に提示するテーマと概要
 - 各期のマイルストーン
- 勤務環境の確認
 - 勤務時間（勤務曜日，時刻）
 - 昼食の環境（社員食堂，ケータリング弁当，付近の食堂）
 - 勤務時の服装（スーツ，作業服貸与等）
 - 通勤環境の確認
 - 選択可能な通勤手段（公共交通機関，自家用車）
 - 宿泊施設の有無（社員寮など）
 - 経費負担の可否（通勤・宿泊）
 - 取り交し予定の書類の確認
-

研修生の決定

1. 研修内容と受入諸条件リストを提示
 - リストに基づき学生検討
 2. 学生の希望調査と人数調整
 3. エントリーシートを貴社に提出，受入ご検討
 - エントリーシート（略式）を学生作成
 - パートナー教員経由で貴社に提出
 - 受入可否の検討と回答
- 研修準備（書類取り交し等）
 - 通勤経路の確認（学生）
 - インターンシップスケジュールの調整
 - 研修条件確認書
 - 研修内容，研修場所等記載
 - 受入組織⇄研修生→プログラム
 - 誓約書
 - 秘密保持等について
 - 学生→受入組織
 - その他
 - 秘密保持契約書
 - 受入組織⇄工学部
 - 共同研究契約書
 - 受入組織⇄新潟大学
-

課題解決インターンシップ I

1. 事前学習

- 1週間程度
- 学内で実施

2. インターンシップ研修

- 24日間以上
- 課題の把握
- 事例調査
- 解決プランの検討
- 解決スケジュールの立案
- 学内学習
 - 概ね1日／週

3. 事後学習

- 成果まとめ
- 報告資料等の作成
- 成果報告会

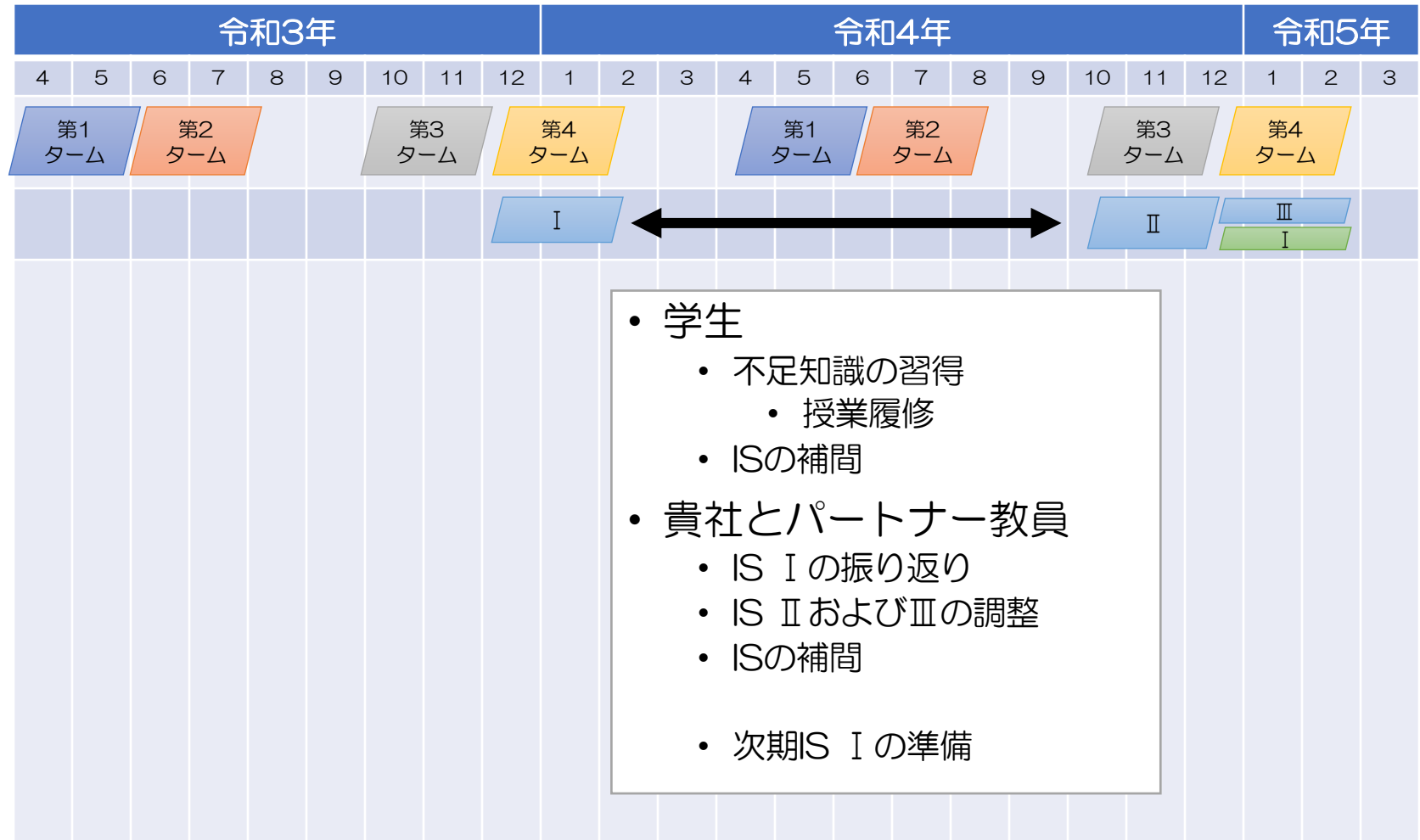
• 受入組織

- 学生評価シートの作成
- 報告書とプレゼン資料の事前チェック（守秘義務の観点から）

• 学生の提出物

- 実施報告書（A4用紙1～2頁）
 - 成果報告会プレゼン資料（10分間程度）
 - ルーブリック評価
-

インターバル期間



課題解決インターンシップⅡ・Ⅲ

- 課題解決IS Ⅱ

- 解決プランの実施
- ⅡとⅢの期間合わせて48日間以上の研修日
- Ⅱの期間末に、研修組織内で成果報告会の実施
 - 学生評価シートの作成
- 学生の提出物
 - 成果報告会プレゼン資料（研修組織内報告会）
 - ルーブリック評価シート

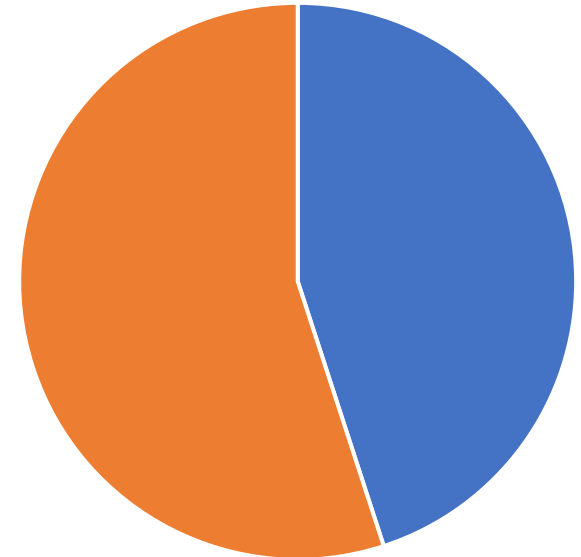
- 課題解決IS Ⅲ

- 解決プロセスの考察・まとめ
 - 1～2月は、報告資料作成期間として、学内学習主体を想定
 - 2月中旬に成果報告会を実施（学内）
 - 学生評価シートの作成
 - 学生の提出物
 - 成果報告会プレゼン資料
 - 成果報告書（卒業論文に相当：A4用紙40頁）
 - ルーブリック評価シート
-



課題解決インターンシップ前後の学生意識の変化 (R1年度：課題解決インターンシップⅠ履修者)

<魅力> 地域の歴史・文化・町・暮らしなどに関する ことを知り解決策を見出すことができる	地域の歴史・文化・町・暮らしなどを 知り、課題とその解決策を見出すことができる	4
	地域の歴史・文化・町・暮らしなどを 知り、課題を見出すことができる	3
	地域の歴史・文化・町・暮らしなどについて 知っている	2
	地域の歴史・文化・町・暮らしなどについて よく知らない	1
<経済> 地域を経済的観点から、その地域の産業・ 企業などに関することを知り解決策を見 出すことができる	地域の産業・企業などについて知り、 その課題と解決策を見出すことができる	4
	地域の産業・企業などについて知り、 その課題を見出すことができる	3
	地域の産業・企業などについて 知っている	2
	地域の産業・企業などについて 知らない	1
<人> 地域・企業の人と積極的に対話し、建設 的な意見交換ができる	地域・企業の人と積極的に対話し、 建設的な意見を述べることができる	4
	地域・企業の人と積極的に対話することが できる	3
	地域・企業の人と対話することが できる	2
	地域・企業の人と対話することが できない	1
<就職希望地域> 意向をお聞かせください。	新潟地域に就職したい	4
	どちらかと言えば、新潟地域に就職 したい	3
	どちらかと言えば、新潟地域以外に 就職したい	2
	新潟地域以外に就職したい	1

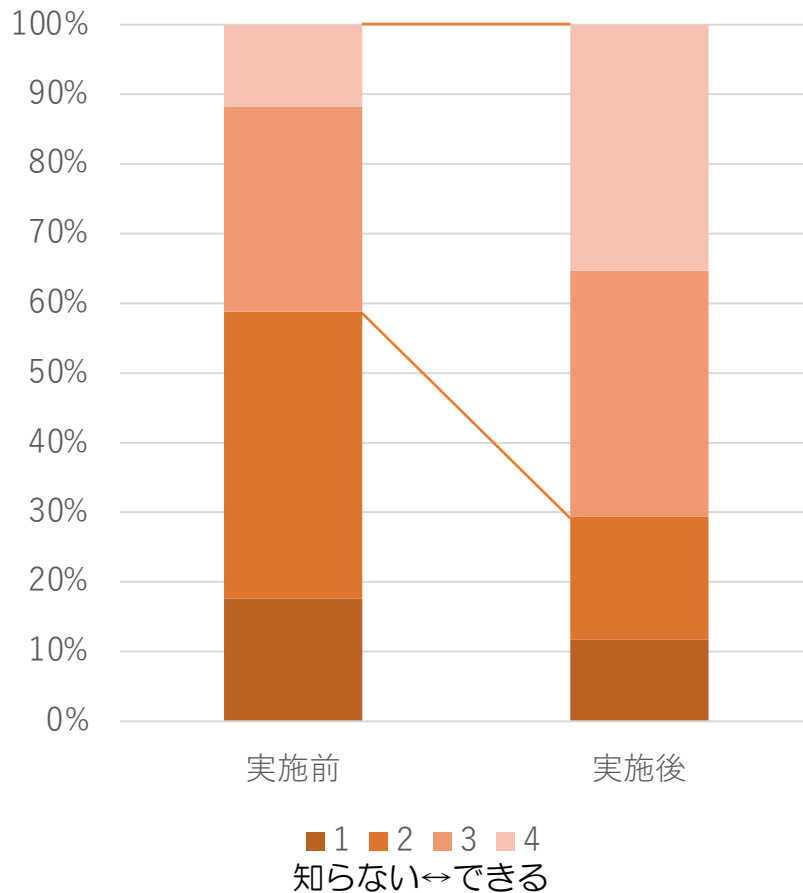


■ 新潟県出身 ■ 新潟県外出身

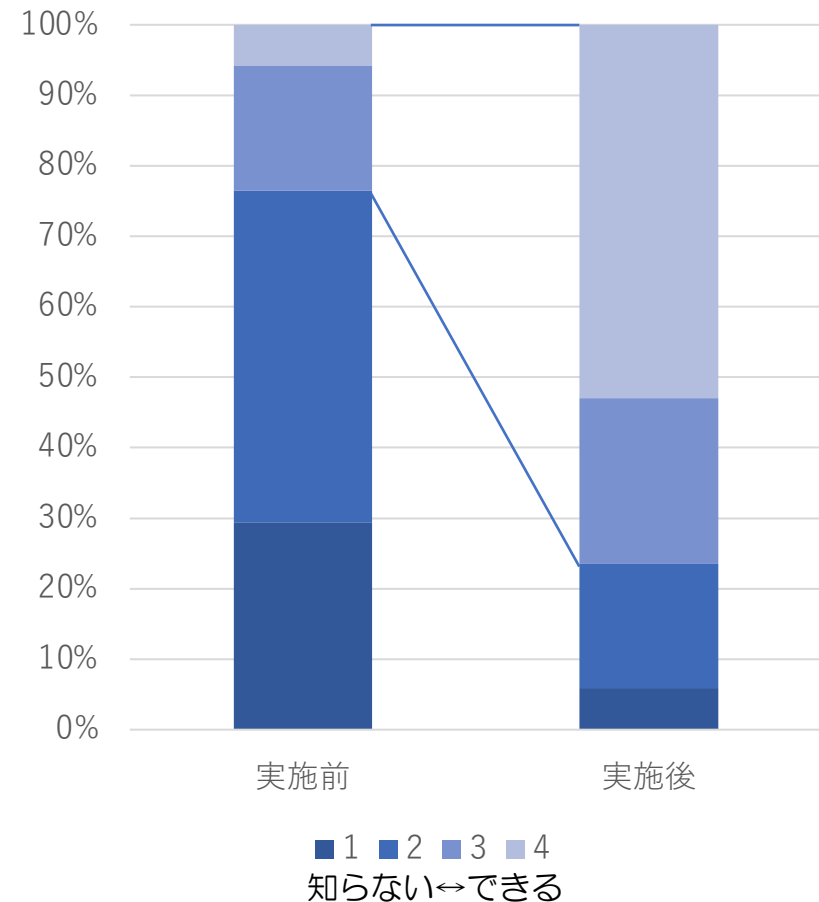


魅力／経済

地域を知り解決策を見出すことができる



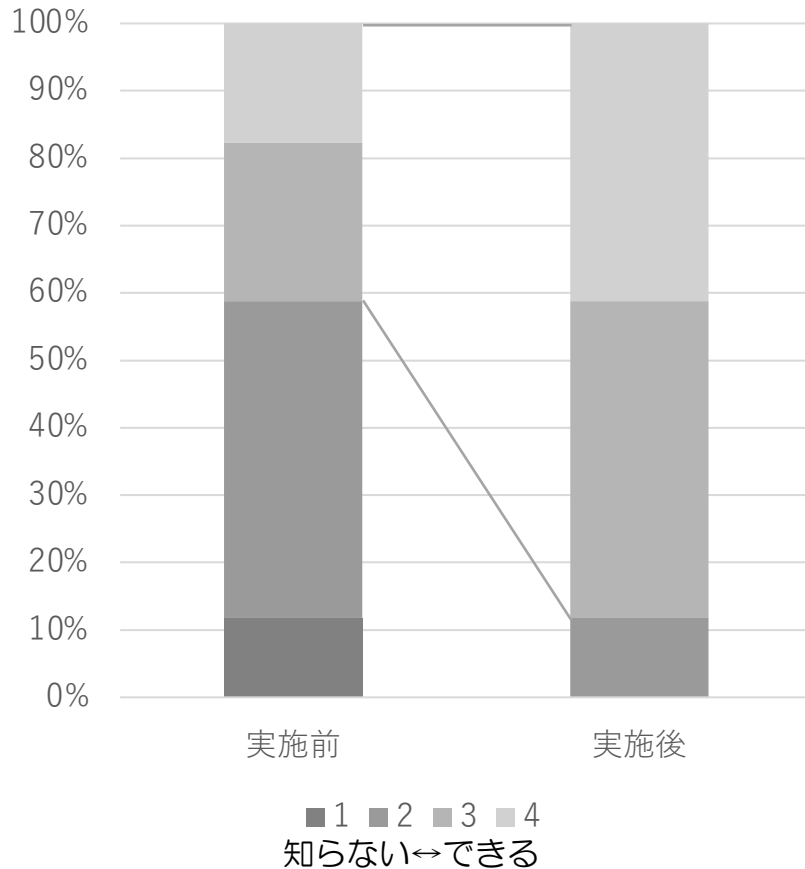
地域の産業・企業を知り解決策を見出すことができる



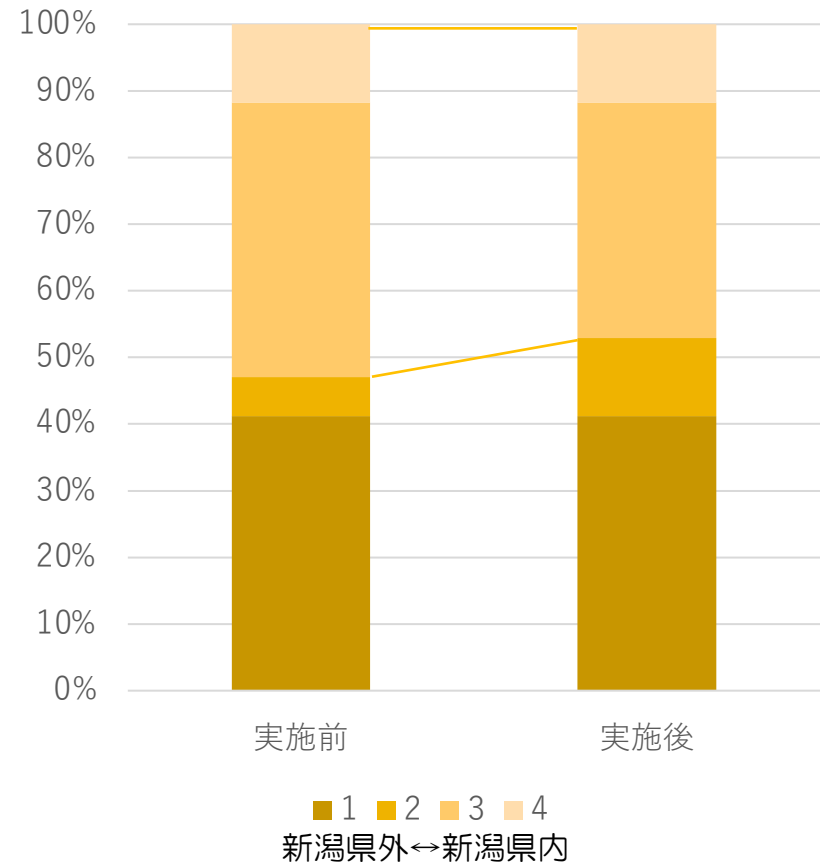


人／就職希望地域

地域・企業の人と積極的に話し、
建設的な意見交換ができる



就職希望地域

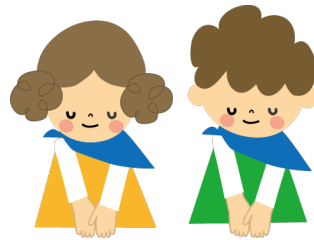




新潟大学 工学部 工学科

協創経営プログラム

Engineering Management Program



お受入れのご検討をどうぞよろしくお願い申し上げます。
